

令和8年度 講座

# 古典に親しむ 『徒然草』 入門

講師 元大分工業高等専門学校教授 山田繁伸

内 容 『徒然草』は、鎌倉時代後期に成立した随筆です。作者は、兼好(けんこう)法師で、俗名を卜部兼好(うらべかねよし)と言いました。卜部氏は、神官を世襲する家柄でしたが、兼好は若い頃宮中に出仕しました。ところが、後二条天皇の崩御を機に出家してしまいます。その出家後、兼好(かねよし)を音読してケンコウと称したようです。吉田兼好(よしだけんこう)と呼ばれるようになったのは江戸時代です。また、作品も江戸時代になってから特によく読まれるようになりました。

仏教の無常観を中心思想にしていますが、内容は有職故実、教訓、宗教、政治、芸術、住居、趣味など多岐にわたります。序段と243段から成っています。兼好の高い知性と広い教養に基づき、深く思索された内容は魅力的です。文章は、簡潔で分かりやすい和文が中心です。

『枕草子』『方丈記』と並び三大随筆と称されるこの『徒然草』の全段を順次読んでゆきたいと思います。

期 間 2026年5月21日～2027年2月25日  
(全9回、4、8、3月を除く)

日 時 第3木曜日 10:00～12:00  
(2月のみ第4木曜日)

定 員 30名

教材費 1,000円

※テキストは、サザンクロスで準備いたします。

別府市ふれあい広場・サザンクロス  
電話 0977-25-3396